

生活困窮者の自立支援

「生活困窮者自立支援法」が成立し、平成27年4月から各自治体で新たな生活困窮者の自立支援事業が展開されています。

この研修では、様々な支援を展開している事例を取り上げ、生活困窮者を支える体制整備の進め方や地域のネットワーク形成の手法について学び、それぞれの地域資源を活用した支援について考えます。

研修の特徴

- ◆「生活困窮者自立支援法」の概要や今後の動向について学びます。
- ◆様々な方法で支援事業を展開している団体からの報告を受け、相談から就労に至るまでの支援を切れ目なく包括的に提供するための施策や実施の手法について考えます。
- ◆プランの実効性を高めるための支援調整会議の運営方法について、具体例を通じて考えます。

開催要領

日程	平成28年7月4日(月)～7月6日(水)(3日間)
場所	全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分
対象	<p>○生活困窮者支援に関わる都道府県・市区町村の職員</p> <p>○社会福祉協議会の職員及び行政と協働実績のあるNPO団体等の職員</p> <p>3日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。 ※議員及び行政と協働実績のあるNPO職員の方も参加可能ですが、本研修は市区町村職員を対象とした研修のため、実務的な内容となっておりますのでご注意ください(各自治体の現状や施策を基に、グループで討議をしていただく時間もあります。)。また、申込人数によっては受講をお断りすることがありますので、予めご了承ください。なお、議員の方は、必ず議会事務局を通じてお申し込みください。</p>
募集人数	<p>40人</p> <p>募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください。 なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。</p>
宿泊	研修所宿泊棟(宿泊型研修) ※外泊はできません。
経費	<p>10,500円</p> <p>上記金額は、研修、宿泊、食事(朝食2回、昼食3回、夕食2回)、資料等にかかる費用です。 なお、事前準備・事前学習にかかる費用は含まれておりません。</p>
申込期限	平成28年5月23日(月)まで
申込方法	<p>JIAMホームページ内「Web申込み」からお申し込みください。</p> <p>議員の方は、議会事務局を通じてお申し込みください。</p> <p>「Web申込み」が難しい場合は、受講申込書によりFAXでも受け付けています。 ※受講申込書はJIAMホームページの書類様式集(http://www.jiam.jp/doc/)にも掲載しております。</p>
受講決定	<p>受講の可否については、開講日の約1か月前までに通知をお送りします。</p> <p>経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。</p>
事前課題	<p>研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。</p> <p>詳細は受講決定通知書送付時にお知らせします。</p>

問い合わせ先

公益財団法人 全国市町村研修財団

全国市町村国際文化研修所(JIAM) 教務部

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号

TEL 077-578-5932

FAX 077-578-5906

[e-mail] kenshu@jiam.jp

[ホームページ] <http://www.jiam.jp>

- 最寄り駅は、JR湖西線唐崎駅です。
- JR京都駅から唐崎駅までの所要時間は、約15分です。
- JR唐崎駅から研修所までは、徒歩約3分です。



【研修の内容及び日程】

7/4
(月曜日)

◆本研修は、3日間に渡り、野洲市市民部市民生活相談課 課長補佐 生水 裕美 氏にコーディネートいただきます。

- 11:00～ **入寮受付・昼食**
- 12:30～ **開講・オリエンテーション**
- 13:00～14:10 **【講義】生活困窮者自立支援制度の今後の動向**
厚生労働省社会・援護局地域福祉課生活困窮者自立支援室長 **本後 健 氏**
導入講義として、生活困窮者自立支援制度の理念・概要・最新動向や、生活困窮者を支援していくために必要な多様なネットワークのかたちについて、具体的事例を交えながらお話しいたします。
- 14:25～15:35 **【講義】生活困窮者自立支援法の意義**
社会活動家・法政大学現代福祉学部教授 **湯浅 誠 氏**
路上生活者支援をはじめ貧困問題に関する活動をされてきた湯浅氏から、生活困窮者の身の上にかかる様々な課題と、行政職員としてそれらにどう向き合い対応していくかについて、法の意義に触れながらお話しいたします。
- 15:50～17:00 **【対談】生活困窮者自立支援法施行から2年、見えてきた成果と課題**
厚生労働省社会・援護局地域福祉課生活困窮者自立支援室長 **本後 健 氏**
社会活動家・法政大学現代福祉学部教授 **湯浅 誠 氏**
講義を踏まえ、受講者の質問を交えながら、見えてきた成果やこれからの課題について両氏に対談いただきます。
- 17:30～ **交流会** 夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

7/5
(火曜日)

◆2日目の午前中は、各自治体のから、それぞれの取り組みをご紹介します。

- 9:00～9:50 **【事例紹介】関係部署や市内外の関係機関との連携による支援**
滋賀県野洲市市民部市民生活相談課課長補佐 **生水 裕美 氏**
- 10:00～11:10 **【事例紹介】委託先と委託元の課題の共有**
東広島市健康福祉部社会福祉課自立支援係長 **水戸 明 氏**
社会福祉法人東広島市社会福祉協議会地域福祉課主任主事 兼東広島市生活支援センター相談支援員 **山原 文佳 氏**
- 11:20～12:20 **【事例紹介】生活保護制度と生活困窮者自立支援制度の連携**
熊本県人吉市健康福祉部福祉課長 **溝口 尚也 氏**
- 13:20～14:20 **【事例紹介】任意事業の拡充の工夫と課題**
滋賀県甲賀市生活支援課課長 **田中 俊之 氏**
- 14:30～17:00 **【演習】模擬支援調整会議**
(ケース提供) 兵庫県播磨町教育委員会教育総務グループ統括 **上田 淳子 氏**
滋賀県野洲市市民部市民生活相談課相談支援員 **河合 智子 氏**
(登壇者) 滋賀県立精神保健福祉センター所長 **辻本 哲士 氏**
弁護士 **土井 裕明 氏**
滋賀県土木交通部流域政策局水源地域対策室副主幹(前滋賀県南部健康福祉事務所副主幹) **中西 大輔 氏**
野洲市市民部市民生活相談課主任 **宇都宮 誠実 氏**
プランの実効性を高めるためには、各相談事例や地域の社会資源等の検討を行う支援調整会議の充実が重要です。この時間では、具体的なケースを通じて、総合的で効果的な相談支援の進め方について検討します。

7/6
(水曜日)

- 9:25～12:00 **【演習・ふりかえり】生活困窮者自立支援制度における支援事業を効果的に実施するために1**
- 13:00～15:00 **【演習・ふりかえり】生活困窮者自立支援制度における支援事業を効果的に実施するために2**
九州大学大学院統合新領学府客員准教授 **加留部 貴行 氏**
研修全体をふりかえるとともに、受講者同士で各自治体の取り組みや課題を共有し合い、様々な主体との連携などによる効果的な事業の実施方法について考えます。企業、大学、行政、NPOの4つのセクターを経験し、それを活かしたファシリテーションを実践されている加留部氏から指導をいただきます。
- 15:00～15:30 **ふりかえり、研修アンケート記入、閉講**